

令和7年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 京都府
農業委員会名： 京都市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和7年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和7 年 4 月 1 日

農業委員数	農業委員	
	定数	実数
	21	21
	認定農業者	—
	認定農業者に準ずる者	—
	女性	—
	40代以下	—
中立委員	—	

任期満了年月日 令和10 年 3 月 31 日

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	27	27	3

2 農家・農地等の概要

経営体数		農業者数(人)		経営体数(経営体)	
総農家数	2,800	基幹的農業従事者数	2,025	認定農業者	292
農業経営体数	1,498	女性	738	基本構想水準到達者	113
※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		40代以下	295	認定新規就農者	30
		※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		農業参入法人	33
				集落営農経営	1
				特定農業団体	0
				集落営農組織	1

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,700	620				2,320

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	2,320	ha	575	ha	24.8	%
課題	・耕作放棄地の増加や、相続による農地所有の分散化等の課題がある。 ・特に耕作放棄地が多い中山間地域等では、担い手が不足しているため、農地中間管理機構や特定農業法人との連携、貸付意向のある農地の情報発信、借り受け希望者の掘り起こしが必要。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和14	年度	集積率	53.0	%
今年度の新規集積面積	67	ha	農地面積(C)	2,320	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	657	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	28.3	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況			
現状	1号遊休農地面積		
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	4.8	ha	4.8
課題	担い手の不足や、高齢化、地域とのつながりの希薄化により、農地としての維持管理が困難となり荒廃化している。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	3.6	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.7	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.0	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針		

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.9	ha
---------------------------	-----	----

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	4年度新規参入者		5年度新規参入者		6年度新規参入者	
	29	経営体	52	経営体	37	経営体
	4.1	ha	9.4	ha	5.2	ha
課題	令和5年度からの農地取得の下限面積の撤廃により、新規参入が増加傾向にある。しかし、業としての経営の自立が難しく、就農後の定着や規模拡大、認定農業者へのステップアップが進み難い。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	4年度		5年度		6年度		平均	
	73	ha	62	ha	55	ha	63	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積					6.3	ha		

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	13	日/月	最適化活動を行う 農業委員の人数	20	人
			農地利用最適化推進委員の 人数	27	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		4	回
取組時期	取組項目	強化月間の内容	
6月、12月	①農地の集積	地域の担い手と出し手の希望をマッチングし、農地の利用集積を促す。	
10月	②遊休農地の解消	地域の遊休農地を確認し、所有者に改善を促し、解決のための相談に乗る。	
1月	③新規参入	新規参入者の営農計画等について、アドバイスをを行う。	

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		1	回
開催時期	未定	相談会名	未定
参加者数	2名	開催場所	未定
相談会の内容	新規参入希望者の相談に応える。 (・新規参入希望者を確保する。) (・新規参入希望者の動向を把握する。)		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)